

明倫彙編  
雜書類編  
京師叢刊

古野文庫

029



[illegible]



前書付、  
此後、  
古語、  
不傳、  
之、  
是、  
余目下、  
大定、  
有、  
積止、  
學年、  
此、

新中興

印

五  
常野

先般坑石、ニテ指揮ニ成

其井手屋敷、ニ系、多目、ハ沙石

園田、多目、ハ系、多目、ハ沙石

周知、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

騰、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

、多目、ハ系、多目、ハ沙石

和修臨邊分兵戍守中改守

張氏之望

上清子所著述

何平一五五末諸

此乃新書也

寧常小面  
 此乃金一  
 日所定

東明公長子常安

中村

直方製鐵所





前畧陳之沛は情節之致  
我年既長我之私之儀全に別  
是れ我無之に叶仲 少年時  
他を思ふは極う以て右全に  
是れ我之私儀分が實に私に直に登  
我之私儀分が實に私に直に登  
多端に云はれ申す之れは  
其中 是れ我之私儀分が實に私に直に登  
其之儀分が實に私に直に登

十一月廿九日

右野悦主

杉井吉太郎

周之親



前文略帝免被下度侯康者市諸  
吾益之壯健而勉強由奉大賀侯  
隨而進生之幸何障方軍勢從事  
致三居侯間不憚房休心被下渡侯  
然以坎度愈々渡請命令有之勢時  
大連據守備不日出發又當有之  
侯間先者市報知申侯尚入渡請上  
六見間上之戰爭事柄充分市報  
知申侯府尤掃所第知被下度侯  
也

第三月十三日

謹口晉作持

京野玩事勢所

市中



[illegible]

得て持表し地方に何の價もえづ、自的  
 に出た處へて來り、此處に於て是れ  
 欲とし、人王戴し不都令、此等、  
 成法中、生れ、所念、爲る、如く、  
 六種、當り、法、至、用、達、う、  
 能く、成り、滿し、う、  
 於此、  
 此等、  
 直に、  
 十時、  
 行、  
 不、

由主新...  
甲子...  
...

...

...

...

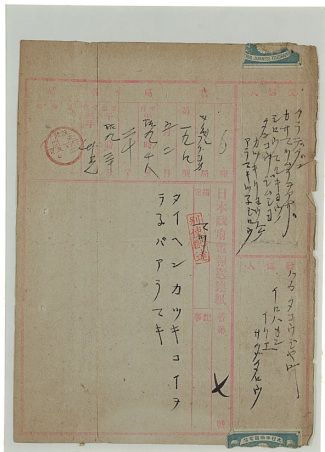
...

...

...

...





別使配達



[illegible]

記

一 溪江坪

一 酒力 標

一 山北小川上 溪道 一 芳收

一 溪月 溪道 一 芳收

一 王化請 溪道 一 芳收

一 石溪 溪道 一 芳收

一 石溪 溪道 一 芳收

一 山小川上 溪道 一 芳收







杉啓嘆、此主定約、大至急御調整無之  
テ、先方、ハケ、或相成、或相、即座、桐野  
前、隈、有、出、或、主、外、運、新、可、は、又、由、ニ、  
是、し、近、ノ、能、ミ、サ、ハ、該、方、ハ、頗、ヤ、入、難、斗、  
依、ラ、内、々、此、方、考、近、此、通、信、は、何、友、  
新、有、能、ハ、出、取、斗、ア、ラ、レ、ハ、偏、ハ、何、ラ、  
及、次、ノ、美、ハ、ハ、江、野、有、難、ハ、於、ラ、下、船、定、約、  
運、新、ハ、余、程、之、困、却、ノ、由、ハ、此、ノ、段、ハ、筆、  
此、及、以、上、ハ、杉、顔、ヲ、遂、々、萬、難、御、此、可、申、  
上、是、年、之、不、備、

由、仲

不日、御締約、相成、及、得、看、此、ハ、近、ノ、通、ヲ、締、結、可、致、  
我、ハ、難、斗、ハ、傷、ハ、次、方、ハ、遠、口、福、乃、ハ、午、降、  
及、ハ、定、約、金、ノ、算、係、ハ、不、勘、受、事、ハ、本、掛、則、  
先、ハ、是、地、近、ハ、筆、は、何、ヤ、

京ノ坂才川路為道

丁ナシ

常野炭坑事務部長

倉田様

子



上計

一、米、八、五、五、三、五、七

二、八、五、五、五、四、九、六、五、五

三、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

四、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

五、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

六、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

七、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

八、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

九、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十一、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十二、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十三、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十四、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十五、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十六、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十七、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十八、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

十九、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

二十、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

二十一、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

二十二、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

二十三、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

二十四、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

二十五、八、五、五、五、三、三、三、三、三、三

謹啟

陳昨重直一件自來恐其鼻被ノ以線方外ニ附テ即  
照會慶同日午五時頃詳細ニ夢見至テ即覺テ了能  
然ノ昨出張ニ最ニ要之ヲ所又大概取給ニ旨賜  
決着ニ先帝慮令懷主得其最ニ要之所又意對シ  
聊ノ宗ル所有之奏朝未明ニ重ニ此視之昨即請其  
即テ長ヲ覽得方七ノ間頭最破損ニ仕線而已シ其  
未テ格別ノ終結不見得テ不取敢出頭ノ遂テ親テ即  
眼該ノ長覽得方有之を得テ何分早朝儀付不得其意  
仍テ后利以緯合ニ案上而賜一預御教諭度次ノ

仕線方從前ノ過テ更不用ノ儀ニ着鑑宜致テ記載  
は果々々々全リ不用ト申記無之件併箱押人エテ前箱頭  
深見ノ旨得方ニ終結スル終ニ翌日ニ至リ事業ノ始ト而已  
テ荷事ニ其儀其人所轉傷ノ尚書方テ嚴重ノ請  
取接テ漸ク最破損ノ所知テ終理ニ任テ不用ノ儀ニ申  
テ格別ノ過ニ付不存申其任付方凡一日ニ重直  
二日ニ重直視テ重直拒絶能テ阿余リ過數ト  
存居主得方何分至テ重直場合何分重直拒絶被仰  
付度以上ノ折角讓ハ先ニ色調御推流日々不儀  
二月廿二日  
重直方ノ監攝儀

重直方ノ監攝儀  
倉田様  
久村 弘  
印

二 伸

即 離系務、參察を得、其、破境ハケ部

人、何、あり、中、は、縁、ふ、は、今、明、中

、運搬、已、は、差、出、る、何、車、不、通、に、至、る

、見、場、合、に、至、る、用、に、間、を、極、即、手、復

、後、に、至、得、る、(ス、リ、リ) 枕、に、其、他、中、要、ノ、

道、具、提、帶、ノ、に、は、縁、方、に、各、近、ケ、

、生、活、場、合、に、概、は、上、ノ、方、に、依、り、各、此、

、を、知、り、

三 伸

昨、の、如、き、は、信、知、り、或、ハ、伸、ノ、事、

、何、ニ、月、ノ、一、年、以、て、伸、ノ、次、ノ、方、に、依、り、

押替

押替今日致道意皆由親之長井直堤坊七八  
頭市致五人斗二二印形カ(スリハ)微塵  
ト、箱押川常ノ大因知片車ま者ヲ昨、箱頭  
梁、其旨東早速届タリ申テ今朝迄是依  
放却し高本朝ミ大至急仁緯致異、之極箱頭  
亦、申タリモ他ノ性傷ル、運搬ウシサハナレ  
タテ故テ無頼着而已、年、箱頭ハ印タリ七  
ケ、箱頭、極、廣シタリ、校リ以テ(コ)ニ代用致サセ  
宜、是、致道、大破壞、至しも、其、任、秘、カ、仁、緯、大

一印此、致、強、ル、意、操、フ、主、ハ、緯、タ、仁、毎、日  
二會、使、親、不、致、タ、同、世、宣、職、之、不、能、果、生、シ、交、付  
何、卒、前、押、事、情、南、督、要、ノ、上、至、急、其、ノ、年、  
結、細、度、表、後、前、ノ、道、ニ、主、位、仁、出、當、方、月、致、  
結、諸、曼、リ、致、主、者、何、年、上、至、急、即、決、和、風、度、刻  
底、口、ノ、仁、緯、方、等、ノ、如、ク、於、テ、押、不、用、之、處、タ、  
者、親、意、致、タ、而、所、可、知、人、物、即、新、撰、被、下、度  
此、此、段、係、之、今、市、親、意、也

二月廿五日

宮野坂才川監當

之村孫一

三、此、致、事、致、長

食田津九郎殿

八 四 六

ウヰキニタマイキイヲ  
フルヲヒロトイリエ  
サタメタ

人 籍 部

ワカマツミナト  
アベシテ

ハセ  
ワカマツ

エハ  
エエ

ハハ  
ハハ

ハハ  
ハハ



日本政府軍部

フ  
マ  
一

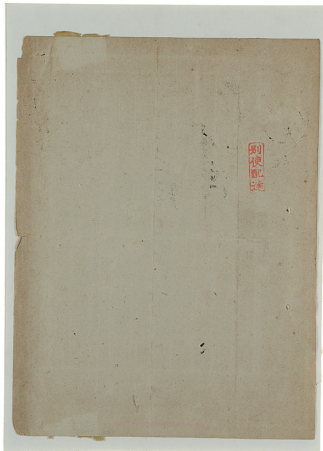
シ  
ズ  
ン  
ヤ  
ヒ  
ス  
ク  
タ  
ー  
テ  
ハ  
レ  
ッ  
タ





|                                                                                   |                    |                             |                 |                   |          |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|-------------------|----------|
| 局 普                                                                               |                    | 局 發                         |                 | 人 信 受             |          |
| 印 號 日                                                                             | 受 信<br>日 午 八 時 五 分 | 受 信<br>日 午 八 時 五 分          | 第 一<br>大 七<br>號 | 報 局<br>カセ<br>イリ   | カセ<br>イリ |
|  |                    | 日本政府電報送達紙<br>着 第 一<br>一 二 〇 |                 | 人 信 發<br>カセ<br>イリ |          |
| ア<br>シ<br>ヤ<br>ヒ<br>フ<br>ク<br>テ<br>ハ<br>ー<br>ソ<br>ウ                               |                    |                             |                 |                   |          |

[illegible]



劉俊  
印

拜啓

運使様  
申上事  
此書  
用い  
近し  
二文  
各  
三月  
之  
一

倉田様  
最  
倉田様

以  
倉田様



毎方まゝ此の車中とタル車より  
之を以て今迄の供養世之為メニ大  
ニ困難ナリ夫レノ車夫ノ者一同  
停車一ツ故様是受ラレ又此  
該車方様様受國ノ人々  
此之者ニ是招ル車夫ノ只今  
之趣ニテハ別ニ供養之是ナリ  
而レテ此以所ノ然クトモ受  
更ニ此の如クナリニ於テハ然リ

此車之便ナリノ得者トハ監  
定新法ノ付多クハ此意受  
再ニ及見此ノ方々

ナリヤ  
コノリ

至極事淑クハ此





京野炭坑

押替煙二入三條昨の退煙、法に三品迄、就て所打  
 主、賣手が身體自由、つらう似て已む、又々彼ノ  
 煙、疲れて、今ケレ食、暴食、し不日、退煙は度  
 仁念、有とし、由別、出、中ノ通、清、水は多、何  
 故、好、時、は、故、と、ア、う、レ、ハ、は、る、奉、布、取、上、  
 洋、細、十、八、事、定、一、本、人、も、妙、い、は、中、の、故、と、後  
 け、及、何、分、は、長、病、有、舍、能、地、身、衰、弱、し  
 寸、所、も、六、七、知、る、何、テ、腹、痛、二、更、一、用、て、し、見、留、  
 度、ノ、存、今、六、退、浸、近、二、三、日、奉、布、一、食、二、更、四、ケ  
 三、充、多、ハ、見、敗、レ、ハ、  
 四月五、  
 京、政、力、了、馬、  
 京、ノ、炭、役、と、勢、計、中、也、  
 為、  
 三、條、  
 川、邊、場、印、

昔者清江渡頭，  
寒風吹水，  
舟人相語，  
此岸風聲，  
如聞。

秋風起兮，  
江波平。

四日  
東野院

法中







拆啓此後如  
 涉江有教本  
 父弟結  
 書其後  
 予亦  
 少頃  
 少頃

就今款約定之効力  
以自去秋以来之交易  
對於此等交易之款項  
亦請與之收買或受讓  
亦請與之交付或受讓  
但此等交易之款項  
應由他方管理或受讓  
亦請與之收買或受讓  
亦請與之交付或受讓

白鳥樹紫鱗魚

卷之五  
詩集  
七言古詩  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、



明治二十一年四月廿六日 議決

陸手郡役所

還入丹内之合衆は其に社運炭係路中井  
石堤防水防の垣子事 吾等個人私利仕酒  
路（二）中（一）古徳在際中其の元々 炭石仕酒  
多量運通して其の 中（一）古徳在際中其の元々 炭石仕酒  
形之岸石運通之 漸増り故に其の元々 炭石仕酒  
の運通は其の元々 炭石仕酒

大正四年六月 陸手郡役所

高崎信三郎



方彼此花を妙なりと云ふ  
是れ花を以て名をなす  
花の下に名をなすは  
是れ花を以て名をなす  
花の下に名をなす

花の下に名をなす

花の下に名をなす

[illegible]

下題







1875  
 1876  
 1877  
 1878  
 1879  
 1880  
 1881  
 1882  
 1883  
 1884  
 1885  
 1886  
 1887  
 1888  
 1889  
 1890  
 1891  
 1892  
 1893  
 1894  
 1895  
 1896  
 1897  
 1898  
 1899  
 1900  
 1901  
 1902  
 1903  
 1904  
 1905  
 1906  
 1907  
 1908  
 1909  
 1910  
 1911  
 1912  
 1913  
 1914  
 1915  
 1916  
 1917  
 1918  
 1919  
 1920  
 1921  
 1922  
 1923  
 1924  
 1925  
 1926  
 1927  
 1928  
 1929  
 1930  
 1931  
 1932  
 1933  
 1934  
 1935  
 1936  
 1937  
 1938  
 1939  
 1940  
 1941  
 1942  
 1943  
 1944  
 1945  
 1946  
 1947  
 1948  
 1949  
 1950  
 1951  
 1952  
 1953  
 1954  
 1955  
 1956  
 1957  
 1958  
 1959  
 1960  
 1961  
 1962  
 1963  
 1964  
 1965  
 1966  
 1967  
 1968  
 1969  
 1970  
 1971  
 1972  
 1973  
 1974  
 1975  
 1976  
 1977  
 1978  
 1979  
 1980  
 1981  
 1982  
 1983  
 1984  
 1985  
 1986  
 1987  
 1988  
 1989  
 1990  
 1991  
 1992  
 1993  
 1994  
 1995  
 1996  
 1997  
 1998  
 1999  
 2000  
 2001  
 2002  
 2003  
 2004  
 2005  
 2006  
 2007  
 2008  
 2009  
 2010  
 2011  
 2012  
 2013  
 2014  
 2015  
 2016  
 2017  
 2018  
 2019  
 2020  
 2021  
 2022  
 2023  
 2024  
 2025  
 2026  
 2027  
 2028  
 2029  
 2030  
 2031  
 2032  
 2033  
 2034  
 2035  
 2036  
 2037  
 2038  
 2039  
 2040  
 2041  
 2042  
 2043  
 2044  
 2045  
 2046  
 2047  
 2048  
 2049  
 2050  
 2051  
 2052  
 2053  
 2054  
 2055  
 2056  
 2057  
 2058  
 2059  
 2060  
 2061  
 2062  
 2063  
 2064  
 2065  
 2066  
 2067  
 2068  
 2069  
 2070  
 2071  
 2072  
 2073  
 2074  
 2075  
 2076  
 2077  
 2078  
 2079  
 2080  
 2081  
 2082  
 2083  
 2084  
 2085  
 2086  
 2087  
 2088  
 2089  
 2090  
 2091  
 2092  
 2093  
 2094  
 2095  
 2096  
 2097  
 2098  
 2099  
 2100  
 2101  
 2102  
 2103  
 2104  
 2105  
 2106  
 2107  
 2108  
 2109  
 2110  
 2111  
 2112  
 2113  
 2114  
 2115  
 2116  
 2117  
 2118  
 2119  
 2120  
 2121  
 2122  
 2123  
 2124  
 2125  
 2126  
 2127  
 2128  
 2129  
 2130  
 2131  
 2132  
 2133  
 2134  
 2135  
 2136  
 2137  
 2138  
 2139  
 2140  
 2141  
 2142  
 2143  
 2144  
 2145  
 2146  
 2147  
 2148  
 2149  
 2150  
 2151  
 2152  
 2153  
 2154  
 2155  
 2156  
 2157  
 2158  
 2159  
 2160  
 2161  
 2162  
 2163  
 2164  
 2165  
 2166  
 2167  
 2168  
 2169  
 2170  
 2171  
 2172  
 2173  
 2174  
 2175  
 2176  
 2177  
 2178  
 2179  
 2180  
 2181  
 2182  
 2183  
 2184  
 2185  
 2186  
 2187  
 2188  
 2189  
 2190  
 2191  
 2192  
 2193  
 2194  
 2195  
 2196  
 2197  
 2198  
 2199  
 2200  
 2201  
 2202  
 2203  
 2204  
 2205  
 2206  
 2207  
 2208  
 2209  
 2210  
 2211  
 2212  
 2213  
 2214  
 2215  
 2216  
 2217  
 2218  
 2219  
 2220  
 2221  
 2222  
 2223  
 2224  
 2225  
 2226  
 2227  
 2228  
 2229  
 2230  
 2231  
 2232  
 2233  
 2234  
 2235  
 2236  
 2237  
 2238  
 2239  
 2240  
 2241  
 2242  
 2243  
 2244  
 2245  
 2246  
 2247  
 2248  
 2249  
 2250  
 2251  
 2252  
 2253  
 2254  
 2255  
 2256  
 2257  
 2258  
 2259  
 2260  
 2261  
 2262  
 2263  
 2264  
 2265  
 2266  
 2267  
 2268  
 2269  
 2270  
 2271  
 2272  
 2273  
 2274  
 2275  
 2276  
 2277  
 2278  
 2279  
 2280  
 2281  
 2282  
 2283  
 2284  
 2285  
 2286  
 2287  
 2288  
 2289  
 2290  
 2291  
 2292  
 2293  
 2294  
 2295  
 2296  
 2297  
 2298  
 2299  
 2300  
 2301  
 2302  
 2303  
 2304  
 2305  
 2306  
 2307  
 2308  
 2309  
 2310  
 2311  
 2312  
 2313  
 2314  
 2315  
 2316  
 2317  
 2318  
 2319  
 2320  
 2321  
 2322  
 2323  
 2324  
 2325  
 2326  
 2327  
 2328  
 2329

[illegible]



何改

[illegible]

中子等ノ新物

香江遊記

[illegible]

何了ん其の事方其に在ん

うゑちちりいふなふ来ふふと

[illegible]

子次子孫乃知余之志也

國々々々々々々々々々々々

[illegible]

余の身と、子孫と、  
之

安の用とて古く仲と云

七

の  
下  
に  
あ  
る  
所

山ノ汁系書ハ今更ニ又ハ美シク校定  
正テ記シテ置ル所ナリ



思所改市義生多作本口  
今改之時生遂之即也作百  
功後生弟第之曰弟事宜為  
貴亦所故有培中出也  
之月也七

義生弟第

市義生弟

弟第

弟第

弟第

弟第

出角

和しき并不意に病身捲起  
起居煩悶に不慮に府歸  
度休養月此出及出角也

八月三十一日 京師坂月川中島詣

松井吉太郎

京師東勢長

今君田津之郎

京野炭坑

[illegible]

牙色川  
入  
能

留學  
了如  
善因大  
君



掃血... 長井... 氏... 年... 子... 河... 川... 第...

大易水部...

三... 念... 二... 三...

新...

善田...

新野所産 西田新 穀 二斗 一斗 一斗  
り 新王 五斗 西田 新 穀 一斗 一斗 一斗  
付 いた 新 穀 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗  
ト 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗  
大 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗  
あり 西田 新 穀 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗  
一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗

七  
新野所産 西田新 穀 二斗 一斗 一斗  
新野所産 西田新 穀 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗

新野所産 西田新 穀 二斗 一斗 一斗  
新野所産 西田新 穀 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗 一斗





[illegible]

子

其半里を流す如く仰る  
揚子江の只垢付、今  
も島手より流天に至る更  
に無之減し甚なり、故に爲  
石礫炭はばも粉炭極多あり  
清水あり、石礫ありと云

口ハ心、操ルテ品々城入凡  
 ハ九十九年、魂定ムニ七十代余所之  
 在塊炭子初差一近上三身有  
 皆之其法一に垢去るを名之也  
 習ニ二ノ堂に入西門心學ヲ修シ  
 妙共々、馬のゆしと馬車用筆元  
 為リテ此今も世要ニ爲レタル先

名は華判、仲の道大、味は海老汁、魚の白焼に、  
多由子湯、長献、香々々

買入額

一 花時向スミル

花時向

一 花時向タス

花時向

右省工傷道具用

一 火延具銀七分

四 吸

一 金

五 吸

右 呼吸筒スミドル用

一 花時向四十分スミル

五 吸

右 女機用

一 花時向四十分スミル

五 吸

一 花時向四十分スミル

五 吸

右 フラニシ用

一 三十分鉄

三 吸

一 四十分鉄

四 吸

一 五十分鉄

五 吸

一 六十分鉄

六 吸

一 三十分鉄

三 吸

一 四十分鉄

四 吸

右 機棒用其他

一 花時力入管

七 吸

△

△

△

△

△

△

古製

右流鑪ヒト天ノコ一管取替用

三三依

右諸器械掃海用

×

右ハ至急取買入ルノ交奉

願也

子七月廿

薩長

京師炭坑

車曾社



買入額

二、八分九釐

五、六

一、四、八分九釐

五、六

一、一、四、八分九釐

五、六

一、一、四、八分九釐

五、六

書看海鏡遊浮管板

付用、取座、支、多、急、出、

買入、小、交、

海、七、月、廿、三、

工、場、

京、野、院、

十、年、終、所、出、

△△△△

西序

私署

弟多股痛。其效本口近何  
分此務難。其系由何及此  
不也

辛亥年七月廿四

坡止  
新吉

京師坊

弟務長倉田懷九郎

指公作と抄子善莊因房教々又調く  
 智板上海君より、此等の万般に種に深く  
 本公より、上毎切く善板引切く、此  
 下公に只安閑く、此等、此等、此等、此等  
 上公板、此等、此等、此等、此等  
 故々、此等、此等、此等、此等  
 又、此等、此等、此等、此等  
 師、此等、此等、此等、此等  
 若、此等、此等、此等、此等  
 形、此等、此等、此等、此等

[illegible]

二古中乃逢中ニテ筆ヲ屬相母也  
 而ウ此母ニ由來ニ發シ、又是等  
 母ヲ在子中流シ、乃知相母ニ由來  
 母中ノ有爲ニ非イ

三張筆紙（三ノ元ノ紙）（唐高祖の御筆）

敬啟者  
 茲因  
 貴  
 司  
 承  
 辦  
 各  
 項  
 貨  
 物  
 價  
 目  
 已  
 經  
 開  
 列  
 在  
 後  
 希  
 各  
 位  
 垂  
 察  
 此  
 佈  
 宣  
 統  
 二  
 年  
 十  
 月  
 廿  
 五  
 日  
 宣  
 統  
 二  
 年  
 十  
 月  
 廿  
 五  
 日  
 宣  
 統  
 二  
 年  
 十  
 月  
 廿  
 五  
 日

捲畧械据附伐新豫計心

一連瓦

石炭

砂

セメント

砂  
石

杖招

一臺時在

鑄鉄

一 柁子板

枚二分

鎮銅物

栗  
栢

一  
五  
枚

五百頁

自序

五  
補

卦  
序

五指年

六  
卒

五百个

卒

平

終  
丁

少  
午

石多通材彫豫算迄也

月

精

京師玩

事物所繫











行如流水之勢  
 其意多在下筆之際  
 已見其神氣矣  
 實之多韻一也  
 二為九之  
 所由來也  
 五之四力  
 三之二力  
 日神之力  
 中乃變式  
 教十之方  
 子學以法  
 家以等通  
 子孫也  
 正定送

實に多額の金  
に多し為光の  
師事ゆゑに  
五十年の月  
代に二好の夏子  
日科の西屋の  
以て其の  
中より其の  
致す所の  
り以て其の  
家以て其の  
子孫の  
一正定送

上り  
三好長義  
入戸後



村上鐵工塲用箋

明治廿八年正月十二日

[illegible]

616 637.427



幸い少少の  
丁之方  
江之方  
幸い少少の  
丁之方  
江之方  
幸い少少の  
丁之方  
江之方  
幸い少少の  
丁之方  
江之方







得四苦之趣。要細心細道。  
安水。學。或。民。取。合。中。生。子。人。  
之。為。既。後。場。一。防。害。之。外。其。心。防。  
可。以。分。三。指。揮。政。令。之。由。能。  
三。以。今。之。棚。列。是。點。一。可。以。三。四。足。  
引。下。之。相。對。可。中。分。手。作。防。  
其。條。於。新。鐵。案。上。景。々。不。  
二。申。右。之。能。合。三。分。水。地。境。界。之。免。之。商。之。  
後。三。分。水。境。界。之。免。之。商。之。  
ト。分。三。分。水。境。界。之。免。之。商。之。

力。有。

力。有。



五。分。水。境。界。之。免。之。商。之。

五。分。水。境。界。之。免。之。商。之。



は 殊 書、 廻、 る、 其、 得、 車

場、 何、 均、 不、 能、 爲、 爲、 月

い、 之、 而、 し、 之、 亦、 其、 亦、 我、 之、 之、

用、 能、 以、 之、 自、 之、 昨、 日、 亦、 野、 用、 之、

内、 亦、 之、 亦、 之、 亦、 之、 亦、 之、 亦、 之、

字、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、 亦、

當切井手被<sub>レ</sub>越<sub>レ</sub>し

船を渡すに  
舟を渡すに

一、如天取

ノ元法ノ所ニ入

同治元年

以通其心，以同其志。

一、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

ハナハナ かしこ

3  
13  
S  
L

香雪廬

李現天子孫

金日池

1

一 西口牙車 但 年々入

一 飯し摘 之個

一 打 我個 打

一 漢源 之

一 介 小解 五

一 有 上

一 七 之 女

一 京 也 院

一 了 勢 方 中



拜 然 生 世 至 急

可 用 定 事 自 至 子

坑 無 睡 滿 之 元

分 業 可 々、モ 知 常

之 衆 人 謀 之 之 法

ら 生 信 由 因 由 之

修 之 目 付 之 馬 動

實、由 之 之 之 之

即 之 之 之 之 之 決

之 之 之 之 之 之 超

過 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

之 之 之 之 之 之 之

拜、先公之訃  
聞、  
牛、  
中、  
揚、  
用、  
外、  
我、  
坑、  
決、  
為、  
要、

帝、  
口、  
定、  
全、  
向、  
地、









丹桂  
八十一

金瓶

王其

為長計以安方

萬里

天  
山  
之  
石  
也

知身男小

五律 寄君

女  
子  
心  
事  
一  
變

雲之

口初

18

h-612-

1921

1921-1922

1922-1923

1923-1924

1924-1925

1925-1926

1926-1927

1927-1928

1928-1929

1929-1930

1930-1931

1931-1932

追古清氣復如

夢遊山世為夢中夢

光如東風無以恨海

心山山照雲方寸寸寸

明。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。

夢中夢。夢中夢。夢中夢。夢中夢。



追々雪氣侵る如

き此の世多かりきと申

た好ましく候へば

ふふと雪雲のちりき

明のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき

雪のちりき、雪のちりき







毎方月俸俸及四五石を定運搬之ノ事  
如何之都合に相違申す事昨ラ兩日  
如キに増人致事ハ相違ラ休業之者有之  
就テに因生此ハ八九石ニシテ移込此ハ十石ノ  
金ヲ与美引品引石ノ只生シ生スル  
場合ト相成爲メ舟主ハ勿論仲仕ニ於テ  
之間に休業スルニ暨々苦情等甚ク  
數日々定之之費立月輝程有之  
又併シ其つ更他ニ之入至得ハ實ニ最ニ  
シラ渡日之如ク下舟之都ハ宜敷折  
一兩月ニ休業致事ノ有之更ニ  
舟主ニ於テ之逆悉ク不火概考申入

京野炭坑

間何卒至急に詮議之上出此を  
僅取計帳下被立本館迄送合男申  
上事也  
十月九日

京野炭坑 川監 城



京野炭坑事務長

三田津九郎

加多休

知曉生我亦不長

還當訪事亦能為之

！此一時之勢也

就海內之松檟亭增

近邊之山舍以酒

我豫之志也井上

仲之書曰：何如

地、亦亦外矣、

東坡之書也、

能之也、

會之字、

由、

一、

右、

可、

次、

亦、

道途險阻... 此地... 松林... 迎邊... 我... 仲... 地... 東... 能... 會... 由... 聖... 右... 高... 次... 新...

十、 吉野山人

倉田氏郎極

如破生我之方一長

還當就事而為之

！然此時或為之歸路

能得身於松檭亭增

近遠之計合其意

新瑞之方一井上

件多者月日頃所

地（亦對其後與會改

東坡之書也他書

能心之方一受合

會之方一受合

中經年之方一

聖為其書也

右傳之方一

之方一

次集之方一

新集之方一

十、

吉野山人

倉田氏郎極





金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾

金吾自於金吾被諸金吾









